

NO. **420**  
2026.6・7

# CENTER NEWS



## 目 次

理事就任のご挨拶	小路 博之……………	1
4・5月定例理事会	……………	2
第46期通常総会開催報告	松岡 令子……………	3
2025年度(令和7年度)顧客満足度アンケート 調査結果のご報告	八谷 誠……………	4
かいしゃたんぼうき(株)オキココレーション)	……………	6
中堅技術者室内土質試験講習会参加に関して	近藤 恵太……………	8
2026年度ジオ・ラボネットワーク技術者交流会 開催報告	松川 尚史……………	9
「第68回実技セミナー」開催報告について	李 俊憲……………	11
委員の独り言	長谷川 智昭……………	13
編集後記	小竹 雄太……………	14

### 訂正とお詫び

広報誌419号の目次において、掲載者様の氏名の漢字表記に誤りがございました。  
正しくは下記のとおりです。

【誤】澤口 理沙

【正】澤口 理紗

関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、  
ここに訂正させていただきます。

## 表紙説明

徳島県にある「土柱(どちゅう)」は、阿波の土柱として知られる珍しい地形です。

約100万年以上前に堆積した地層が、雨や風による浸食を受けて削られ、柱のような形になりました。その独特な景観から「日本のグランドキャニオン」と呼ばれることもあります。主な特徴は次のとおりです。

- ・国の天然記念物に指定されている
- ・高さ数十メートルの土の柱が並ぶ
- ・世界的にも珍しい侵食地形の一つ
- ・展望台から昼夜それぞれ異なる景色を楽しめる
- ・徳島県を代表する自然観光スポットの一つです。

(工藤 記)



## 理事就任のご挨拶

株式会社 ヨコタテック  
小路 博之

この度、理事を拝命いたしました株式会社ヨコタテックの小路博之です。

私は1994年にヨコタテックに入社しました。入社以来、地質調査業務において現場管理、民間営業、官庁営業に携わり、2006年に環境部門（土壌汚染調査）立ち上げに伴い、現場作業に従事いたしました。センターには、弊社技術スタッフはじめ私自身も大変お世話になっています。特に私が依頼する仕事は、いつも急ぎ急ぎですがご対応いただき、誠にありがとうございます。また、取引先のお客さん同行での試験見学も快く引き受けていただきありがとうございます。重ねてお礼申し上げます。

歴史あるセンターの理事という大役を仰せつかり、その責任の重さを感じるとともに、大変光榮に存じております。

我々の取り巻く環境は、技術の高度化や品質管理の重要性の高まりなど、大きく変化しております。そのような中でセンターが担う室内土質試験や技術支援の役割はますます重要と思われれます。

微力ではございますが、組合員の皆様と力を合わせ、センターの発展と業界の信用信頼向上に尽力してまいります。皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



令和8年4月28日（火）15時00分より、大阪キャッスルホテル会議室にて理事9名が出席して開催した。

**【報告事項】**

- 1) 一般経過報告
- 2) 3月分事業報告
- 3) 令和8年度ジオ・ラボネットワーク技術者交流会の件
- 4) その他の件
  - (1) 組合員代表者変更のお知らせ

**【審議事項】**

- 1) 第46期通常総会議案書（案）承認の件
  - (1) 令和7年度事業報告書（案）承認の件
  - (2) 令和7年度決算書（案）承認の件
  - (3) 令和7年度余剰金処分（案）承認の件
  - (4) 令和8年度専務理事報酬を含む役員報酬（案）承認の件
  - (5) 令和8年度借入金限度額（案）承認の件
  - (6) 令和8年度事業収入計画（案）並びに収支予算（案）承認の件
  - (7) 第五次中期経営計画について
- 2) 第46期通常総会当日の役割分担について
- 3) その他の件
  - (1) 繰返し一面せん断試験機導入について

令和8年5月28日（木）12時30分より、大阪キャッスルホテルにて理事9名が出席して開催した。

**【報告事項】**

- 1) 一般経過報告
- 2) 4月分事業報告
- 3) 第46期通常総会進行及び担当について
- 4) 第46期通常総会後の手続き等の予定について

**【審議事項】**

- 1) 令和8年度（第47期）臨時総会開催日時・開催場所・特別講演会について
- 2) 組合新規加入申し出の件
- 3) その他の件
  - (1) 定年について
  - (2) 職員の給与水準について

# 第 46 期通常総会開催報告

総務経理室 松岡 令子

令和 8 年 5 月 28 日 (木)、第 46 期通常総会を大阪キャッスルホテルにて開催致しました。司会者が開会を宣し、次に窪田理事長が挨拶を行いました。議長には甲斐副理事長が指名され、議事では、令和 7 年度の事業報告書、決算報告書を承認、次に令和 8 年度事業計画・収支予算を承認した後、第 5 次 (2026-2028) 中期経営計画の説明、新規加入組合を報告し終了した。

通常総会に引き続き、懇親会を開催致しました。窪田理事長、大阪府中小企業団体中央会 堀内総務部長様の挨拶のあと、一般社団法人関西地質調査業協会 小宮理事長様の乾杯のご発声で和やかに始まり、高松理事の中締めで懇親会は盛会の内に終了致しました。



窪田理事長の挨拶



議長の甲斐副理事長



大阪府中央会 堀内総務部長様の挨拶



関西協会 小宮理事長様の乾杯

# 2025年度(令和7年度)顧客満足度アンケート調査結果のご報告

## ～組合員の皆様との対話を通じて、さらなるサービスの向上を目指して～

協同組合 関西地盤環境研究センター  
専務理事 八谷 誠

当センターでは、2024年度にも組合員の皆様を対象とした「顧客満足度アンケート」を実施いたしました。その調査で得られた「回答率の向上」や「設問内容の工夫」という課題を踏まえ、本年度（2025年度）は従来の5つの基本設問に加え、デジタル化や技術交流に関する新たな設問を追加し、組合員だけでなく賛助会員に対しても「顧客満足度アンケート」を実施いたしました。お忙しい中、多くの皆様から貴重なご意見・ご提案をいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

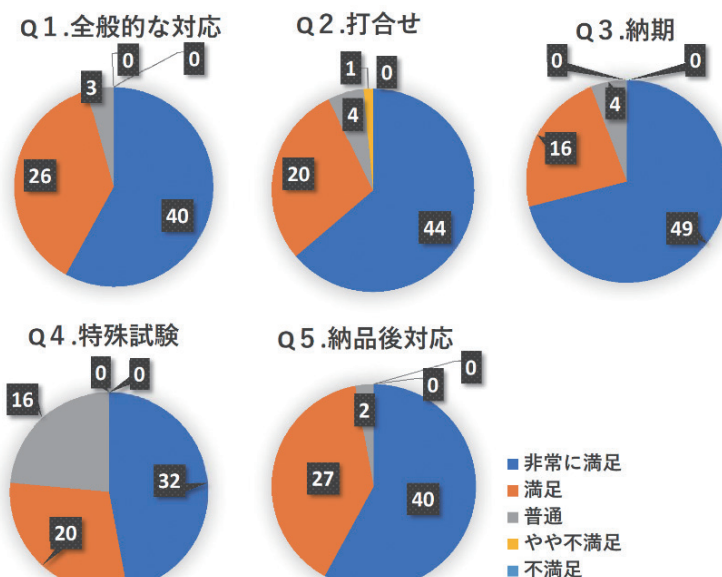
### 1. アンケート実施概要

- 実施時期：2026年4月
- 回答状況：2024年度の回答率（61%）からの改善を目指し、Googleフォーム、Word（PDF）、FAXの3つのルートで実施しました。その結果、組合員からの回答は62%、賛助会員含めると60%でした。
- 設問構成：全9問（Q1～Q5：継続設問、Q6～Q8：新規設問、Q9：自由記述）。

### 2. 基本5項目（Q1～Q5）の満足度評価

依頼から納品、アフターフォローまでの基本サービスについては、多くの企業様から「満足」または「概ね満足」という高い評価をいただきました。

- 全般的な対応（Q1）および納期（Q3）：「無理な要望にも対応、工期も遵守いただいている」、「タイトな工期を守っていただき満足」といった、迅速かつ誠実な対応を評価する声が目立ちました。
- 打合せ対応（Q2）：「電話でも非常に丁寧に回答いただき満足している」、「依頼内容が一方通行とならず助かっている」など、双方向のコミュニケーションが評価されています。
- 特殊試験（Q4）および納品後の対応（Q5）：規格外の試験相談に対しても「詳しく教えてください助かる」、また納品後の問合せについても「丁寧な説明で満足している」との声をいただきました。



### 3. 昨年度 (2024 年度) からの変遷

2024 年度は打合せ対応や納品後の対応で「積極的な満足」が低下傾向にありましたが、本年度の回答では「丁寧な対応」や「適切なアドバイス」への感謝の言葉が多く寄せられ、個々のニーズに寄り添う姿勢が浸透しつつあります。

### 4. デジタル化への対応とデータ提供 (Q6)

本年度 (2025 年度) より新設したデータ提供形式に関する設問では、**CSV 形式でのデータ提供を希望する声**が圧倒的でした。

- **背景**：「報告書作成の効率化」だけでなく、「AI 実装のための入出力用」といった高度な活用を見据えた要望も寄せられています。
- **センターの対応**：物理試験結果のデフォルト提供や、試験申込書へのオプションチェック欄の設置などを検討してまいります。

### 5. 試験過程におけるコミュニケーション (Q7)

試験中の情報共有については、現状の取り組みを評価しつつも、より細やかな連絡が求められています。

- **評価点**：「サンプリング試料の抜き取り後のスケッチが分かりやすい」、「土質のばらつきについて随時協議できている」と好評です。
- **改善点**：「メール送信時の受領確認 (返信) がほしい」といった、事務的な確実性を求めるご意見を真摯に受け止め、改善に努めます。

### 6. 技術的な提案・交流のニーズ (Q8)

若手技術者の育成支援に対するニーズが非常に高いことが浮き彫りとなりました。

- **期待される活動**：「室内試験体験会」、「若手向けのやさしい技術支援」、「女性技術者の交流会」など、多角的な交流機会が求められています。
- **将来の展望**：「他社の技術者と切磋琢磨する同志を得る機会」として、当センターが技術交流のハブとなる取り組みを継続・拡充してまいります。

### 7. 総括と今後の決意

自由記述 (Q9) では、「職員の挨拶や試料運搬の手伝い」といった接遇面への評価をいただく一方で、「記録写真の名称を正式名称にしてほしい」といった実務上の細やかな改善提案もいただきました。

当センターは、皆様からいただいた「信頼の言葉」を励みに、また「改善への指摘」を成長の糧とし、データの利便性向上 (CSV 提供等) と、技術を次世代に繋ぐ「教育・交流の場」の提供に全力で取り組んでまいります。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# かいしゃたんぼうき

## 株式会社 オキコーポレーション

創業 | 昭和 34 年 5 月 12 日  
資本金 | 5,000 万円  
主たる業務 | 地質調査、建設コンサルタント業務、  
堆積環境調査



〈インタビュー風景〉



### 強みトップ3

- ①高度な地質解析技術  
顕微鏡を使い、肉眼では見えない貝殻片や火山ガラスから地層を特定する高い専門性。
- ②人材育成と働きやすい社風  
相談しやすく、ミスも「いじり」で和らげて次へ繋げる温かい雰囲気。
- ③調査から解析までの一貫対応  
ボーリング調査から地質解析、報告書作成までを自社で行い、高品質な成果を迅速に提供。

Q

どのような仕事をする会社ですか？



センター 高野

A

主にボーリング調査を中心とした地質調査業務を行っています。調査によって得られた地盤や土質の情報を分析・解析し、報告書として取りまとめるまでを一貫して対応しています。また、微化石分析や顕微鏡観察を活用した地質総合調査にも取り組んでおり、地層の成り立ちや堆積環境を詳細に把握することで、より精度の高い調査結果を提供しています。

Q

会社の強みはなんですか？

A

現場でのボーリング調査から地質解析、報告書作成までを一貫して行える技術力と対応力にあります。特に微化石分析などの専門的な調査技術を有しており、地質に関する詳細な解析が可能です。また、経験豊富な技術者が多数在籍しているため、お客様の要望に迅速かつ柔軟に対応できます。

Q

働いていて大変だったことはありますか？

A

これまでの業務の中では、現場との調整不足による工程の遅れや、調査位置の確認ミスなどで関係者に迷惑をかけた経験があります。しかし、当社では失敗を責めるだけでなく、再発防止のために何が必要かを一緒に考える風土があります。そのため、失敗から学び、同じミスを繰り返さないための意識を持ちながら成長することができています。



(株)オキコーポレーション  
奥仲さん

**Q**

センターってどんな印象ですか？



センター 仲西

**A**

センターには研修や試験を通じて日頃からお世話になっていますが、非常に雰囲気良く、皆さん親切で話しやすいという印象があります。専門的な知識を持った方が多く、質問や相談にも丁寧に対応していただけるため、大変頼りになる存在です。また、見学や研修の際にも温かく迎えていただき、コミュニケーションが取りやすい環境だと感じています。

**Q**

センターのここがいい！

**A**

試験結果や試験方法について疑問が生じた際に、親身になって説明していただける点が大変ありがたいと感じています。普段あまり実施しない特殊な試験についても分かりやすく教えていただけるため、業務を進める上で非常に心強い存在です。また、問い合わせに対するレスポンスも早く、見学会や体験会など学びの機会が多いことも大きな魅力だと思います。

**Q**

社内はどのような雰囲気ですか？

**A**

社内は和気あいあいとした明るい雰囲気です。社員同士のコミュニケーションが活発です。仕事中はそれぞれが責任感を持って業務に取り組んでいますが、時には冗談を交えながら会話をするなど、メリハリのある職場環境です。また、案件ごとに担当者同士が協力して業務を進めることが多く、上司や先輩にも気軽に相談できるため、自分の意見や考えを伝えやすく、非常に働きやすい環境だと感じています。



(株)オキココーポレーション 山口さん



〈忘年会 風景〉

今回、(株)オキココーポレーションさんへお伺いしました。社員同士のコミュニケーションが活発で、風通しの良い職場環境であると感じました。また、ボーリング調査だけでなく、微化石分析などの専門的な地質解析にも取り組まれており、高い技術力を有していることが印象的でした。オキココーポレーションの皆様、お忙しいところお時間いただきありがとうございました。



センター 仲西

## 社長の一言



代表取締役

古川 英輔

当社は1959年5月の創業以来、地質調査を主な業務とした建設コンサルタントとして、諸官公庁や民間のご依頼主から絶大な評価と信頼を得てまいりました。地盤にアプローチして地球を科学するわたくしたちは「地球を探る・解る・診る」をベースとし、地質調査を核とした総合建設コンサルタント事業を展開しており、当社の企業理念である「誠実な調査」「誠実な解析」「誠実な報告」を念頭に、社会のあらゆるニーズにお応えすべく活動しております。

様々な先端技術の発展により、社会やライフスタイルが急激に変化していくこれからも、わたくしたちの使命は変わりません。地盤のプロフェッショナルとして永く蓄積した技術をもとに、顧客目線に立ったホスピタリティ精神と、当社ならではの専門技術力で、地道に、謙虚に、誠実に、邁進してまいります。



# 中堅技術者室内土質試験講習会 参加に関して

キタイ設計株式会社  
近藤 恵太

令和8年5月15日に開催された「令和8年度 中堅技術者室内土質試験講習会」に参加いたしましたので、その内容と所感について報告いたします。

私は現在、入社6年目を迎え、主にボーリング調査の現場管理から報告書作成までを担当してまいりました。室内土質試験については各試験項目の概要は理解している一方で、実作業は関西地盤環境研究センターへ委託しており、試験工程については十分に理解できていない状況にあります。

今回の講習会では、三軸圧縮試験を中心に、現場作業におけるサンプリング計画から試験概要、および試験値の適用例まで、幅広く密度の高い講習を受けました。その中には、普段の業務で触れており復習となる内容や、これまであまり意識していなかった「気付き」を得られる内容がありました。

「気付き」の一つとして、「採取時に自立しない試料への対処法」があります。これまでは、試料はできる限り自然状態に近い状態で試験を実施した方がよいと考えており、凍結による試料整形を基本的に依頼していました。しかし、凍結処理以外の代替手法や、凍結処理が試験結果に及ぼす影響については十分に理解しないまま業務を進めていたことを認識しました。特に、人工地盤の再構成試料による不飽和三軸圧縮試験の説明では、そのような試験方法があることに驚きました。

また、三軸圧縮試験の詳細については、はじめに座学にて説明を受けた後、試験室にて実機を用いた実演と解説をしていただきました。三軸供試体の飽和方法について理解を深めることができたほか、三軸圧縮試験の流れについても改めて整理することができました。また、若手技術者の方々が対外的な説明の場で堂々と講師を務めておられる姿にも刺激を受けました。

講習会終了後には、受講者・教育・技術小委員会メンバー・関西地盤環境研究センター職員の皆様を交えた懇親会が開催されました。センター職員の方々とは業務上のやり取りはあるものの、このような懇親の場で直接お話しする機会はこれまで少なく、交流を深める大変有意義な時間となりました。

今回の中堅技術者室内土質試験講習会を開催していただきました関西地盤環境研究センターおよび教育・技術小委員会メンバーの皆様に、心より御礼申し上げます。



三軸圧縮試験の供試体飽和状況

# 2026年度 ジオ・ラボネットワーク技術者交流会 開催報告

松川 尚史

5月21日～22日の2日間、「2026年度ジオ・ラボネットワーク技術者交流会」が当センターにて開催されました。全国の各組合から計29名が参加しました。

交流会では「自分たちの組合を知ってもらうこと」を念頭に、各組合が現状取り組んでいる課題や問題点について活発な議論が行われました。

その後、今年3月まで当センターの顧問を務められた西形先生をお招きし、「文化財城郭石垣の維持管理事業における地盤調査と設計の考え方」と題した特別講演をいただきました。ご講演は、1) 城郭石垣の保存と活用、2) 擁壁・斜面としての石垣の診断、3) 城郭石垣の安定性、4) 石垣の修理（補強）という構成で、大変わかりやすく解説いただきました。表面に見える石垣だけでなく「裏込め」がいかに重要であるかについて、加振実験の動画を交えてご説明いただき、視覚的にも理解が深まる内容でした。文化財保護という伝統的な視点と、現代工法という技術的な視点の双方のバランスを取りながら、維持管理事業にご尽力されている実態を深く理解することができました。

特別講演の終了後には、センターの試験室見学が行われました。今回は参加者が自由に見学する形式（フリー見学）とし、それぞれが興味のあるエリアを中心に熱心な見学が行われました。中でも「沈降分析の自動計測システム」への関心が高く、多くの参加者が担当者に熱心に質問を投げかける姿が見受けられました。

夕方からは、特別講師の西形先生、関西組合理事長、およびセンター職員を交



窪田理事長による開会挨拶



西形先生によるご講演風景



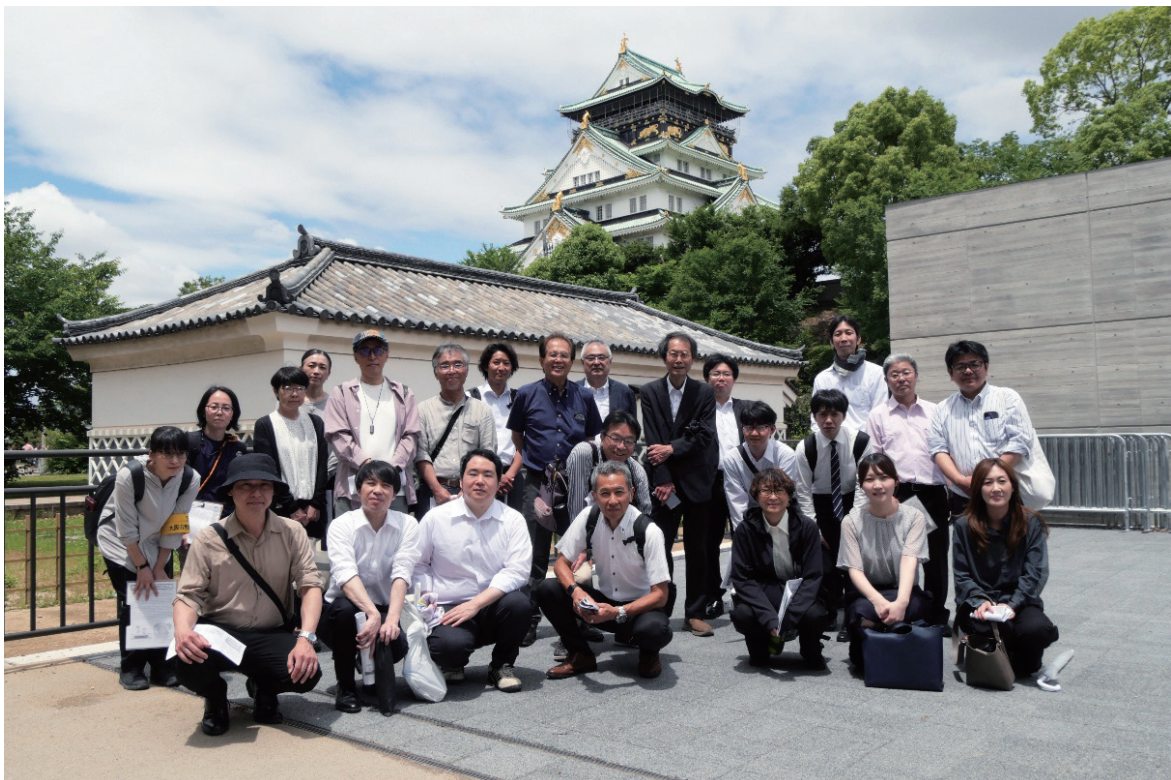
試験室見学（沈降）風景

え、総勢 30 余名の参加のもと「木曾路守口店」にて懇親会が盛大に開催されました。乾杯の挨拶は、関東組合の専務理事である川田氏に執り行っていただきました。参加者一同、久しぶりの再会を喜びながら歓談に花を咲かせ、大いに親睦を深める場となりました。宴の終盤には、中部組合の法安理事長より中締め挨拶をいただき、盛況のうちに散会となりました。なお、一部の参加者はその後も二次会等で遅くまで交流を深められたようですが、2 日目の見学会には遅刻者もなく、全員が揃って参加されました。

2 日目は大阪城およびその石垣の見学を主眼とし、大阪市教育委員会文化財保護課の櫻田氏のご案内・解説のもと、12 時頃まで大阪城公園内を巡回しました。建造から約 400 年が経過し、その間に幾度もの大地震に見舞われながらも、今なお壮大にそびえ立つ石垣の姿を目の当たりにし、当時の土木技術の高さと地盤管理の重要性を再認識する大変貴重な機会となりました。



大阪城の石垣



大阪城見学 集合写真

# 「第 68 回実技セミナー」開催報告について

地盤技術室 李 俊憲<sup>い じゅんほん</sup>

この度、6月4日に当センターで地盤工学会関西支部の第68回実技セミナー「地盤工学入門 - 土質試験の方法と結果の活用 -」を行いましたので報告いたします。

勝見支部長の開会挨拶から始まり、土質試験の全体的な概要、試料の押し出しと観察について講義を行いました。その後、物理試験（液性限界・塑性限界試験）、材料試験（締固め試験、CBR試験、透水試験）、力学試験（湿潤密度試験、一軸圧縮試験、三軸圧縮試験UU）について、それぞれ試験の方法の解説を聞きながら実習を行いました。

「繰返し三軸試験」の講義においては、地震の発生のしくみや変遷、液状化のメカニズムや対策、試験の原理と種類や方法など、三軸試験の基本になる説明が行われ、地質調査を担当する技術者にとって非常に貴重な内容でした。

「土質試験の方法と結果の活用」の講義においては、地盤構造物の設計に伴う課題や検討すべき調査内容や試験項目、そしてその試験から求められたパラメーターを盛土の沈下計算や斜面安定計算へどのように活用しているのかをわかりやすく説明して下さいましたので、地盤工学・土質試験に関する理解がより深まったと思っております。

さらに、土質試験を体験した参加者から積極的な質疑が沢山ありました。透水試験では、中間土のように定水位試験で実施すべきなのか、変水位試験で実施すべきなのかを判断する基準について、また、塑性限界試験では、なぜ試料を手のひらで丸めるのかなど、担当者が試験に関する十分な理解や経験が無いと答えられない鋭い質問がありました。このような質疑を受けることで、センターの試験担当講師（実技）も非常に勉強になったと思っております。このようなコミュニケーションの場はお互い成長できる大変有意義な時間であると思っております。

最後になりますが、地盤工学会関西支部の関係者の皆様、講義、実技および準備をして頂いたセンター職員の皆様並びに実技セミナーに参加して頂いた皆様には多大なご配慮、ご協力を頂きました。心より、感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。



地盤工学会関西支部のご挨拶



実技セミナーの参加様子



土質試験の概要



試料の押し出し観察



物理試験の実習



材料試験の実習



力学試験の実習



繰返し三軸試験の概説



土質試験結果の活用例



懇親会

# 委員の独り言

2026年春～夏、GWが明けた途端に30度超えの日がちらほら出だして、今年はどうなるんやと心配していましたが、梅雨入りで少し過ごしやすくなって、ホッとしています。

皆様、お元気に過ごされてますでしょうか？

皆様、「夏バテ対策」で何かされてますでしょうか？

私の場合、一昔前迄は、ビールを飲んで、焼肉か餃子を食べて、よく寝るでしたが、、

最近、焼肉屋に行くことも全くなくなりました。カルビやテッチャンの油っこいところがこの上なく好きだったのに、今では、赤身を一切れ食べただけで二切れ目に箸が伸びないです。餃子も翌日の胸悪さを考えて、ニンニク抜きを食べるようになってます。

明日への活力は、もっぱら、「じゃこおろし」と「卵焼き」と「サバ塩」で充電している還暦前の弱ったサラリーマンです。今年の夏は乗り越えられるかなあ。。。

(長谷川 記)



## ☆ お知らせ ☆

### 新規加入組合員

2026年5月29日付で株式会社創研技術が組合員に加入致しました。

## 編集後記

○今年も梅雨の時期となりました。去年は梅雨があっという間に過ぎ去ったように感じましたが、今年はどうのような梅雨になるのでしょうか。5月には各地で30℃を超える暑さも観測され、夏の足音が少しずつ近づいています。みなさま、どうぞ体調にはお気をつけてお過ごしください。

○組合員各社を訪問する「かいしゃたんぼうき」のコーナー。今年は休載することなく順調に掲載が続いております。個人的にも毎回楽しみに読ませていただいている企画で、今後もどのような会社が登場するのか楽しみです。振り返ってみると、これまでに訪問した会社は10社を超えておりました。取材を続けてくださっているセンターの取材班さま、本当にお疲れさまです。

○今年も3団体合同見学会が開催予定です。今年はセンターが企画担当となり、現在準備を進めております。ご興味ある方はぜひ続報をお待ちください！

(小竹 記)



# 組合員・賛助会員名簿

## 【組合員名簿】

(50音順)

会社名	電話番号	会社名	電話番号
株式会社 アサノ大成基礎エンジニアリング 関西支社	(06)6456-1531	株式会社 大同ソイル	(0745)63-1850
株式会社 アテック吉村	(072)422-7032	大日本ダイヤコンサルタント 株式会社 江坂オフィス	(06)6339-9141
株式会社 池田地質	(06)6797-2280	株式会社 タニガキ建工	(073)489-6200
株式会社 勇コンサルタンツ	(06)6306-6907	株式会社 地域地盤環境研究所	(06)6943-9705
株式会社 インテコ	(0742)30-5655	株式会社 地圏総合コンサルタント 四国支店	(0897)33-3123
株式会社 エイト日本技術開発 関西支社	(06)6397-3888	中央開発 株式会社 関西支社	(06)6386-3691
株式会社 エス・ビー・シー	(0883)52-1621	中央復建コンサルタンツ 株式会社	(06)6160-1121
株式会社 エムアールソイル	(06)6195-6712	株式会社 東京ソイルリサーチ 関西支店	(06)6384-5321
株式会社 オキコ コーポレーション	(06)6881-1788	株式会社 東建ジオテック 大阪支店	(072)265-2651
応用地質 株式会社 関西事務所	(06)6885-6357	東邦地水 株式会社 大阪支社	(06)6353-7900
川崎地質 株式会社 西日本支社	(06)7175-7700	土質コンサル 株式会社 大阪事務所	(072)634-6373
株式会社 関西土木技術センター	(075)641-3015	ニタコンサルタント 株式会社	(088)665-5550
株式会社 基礎建設コンサルタント	(088)642-5330	株式会社 日さく 大阪支店	(06)6318-0360
基礎地盤コンサルタンツ 株式会社 関西支社	(06)4861-7000	株式会社 日建設計	(06)6203-2361
キタイ設計 株式会社	(0748)46-2336	株式会社 日本インシーク	(06)6282-0310
株式会社 キンキ地質センター	(075)611-5281	日本基礎技術 株式会社 関西支店	(06)6351-0562
株式会社 KGS	(072)279-6770	日本物理探査 株式会社 関西支店	(06)6777-3517
株式会社 建設技術研究所 大阪本社	(06)6206-5700	ハイテック 株式会社	(06)6396-7571
興亜開発 株式会社 関西支店	(072)250-3451	株式会社 阪神コンサルタンツ	(0742)36-0211
国際航業 株式会社 関西事業所	(06)7175-8733	阪神測建 株式会社	(078)360-8481
株式会社 国土地建	(0748)63-0680	ビューエンジニアリング 株式会社	(088)665-7360
サンコーコンサルタント 株式会社 大阪支店	(06)6121-5011	株式会社 復建技術コンサルタント 関西支店	(06)6266-2244
三正技建 有限会社	(0883)63-5401	復建調査設計 株式会社 大阪支社	(06)6392-7200
有限会社 ジオ・ロジック	(072)453-1000	双葉建設 株式会社	(0748)86-2616
株式会社 白浜試錐	(0739)42-4728	報国エンジニアリング 株式会社	(06)6336-0228
一般財団法人 GRI財団	(06)6941-8800	株式会社 メーサイ	(06)6190-3371
株式会社 ソイルシステム	(06)6976-7788	明治コンサルタント 株式会社 大阪支店	(06)7178-1659
株式会社 創研技術	(088)652-0077	株式会社 ヨコタテック	(06)6877-2666

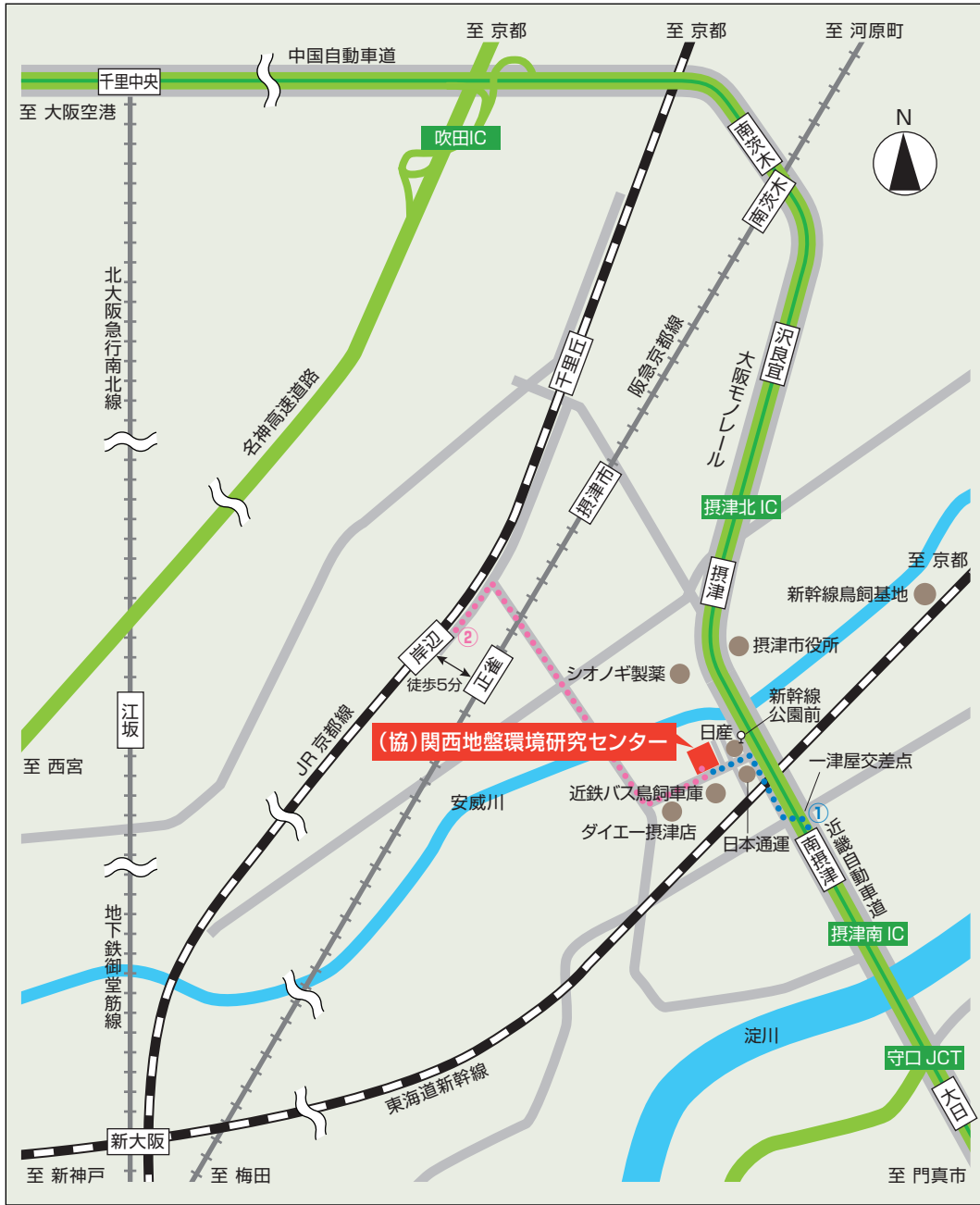
## 【賛助会員名簿】

会社名	電話番号	会社名	電話番号
株式会社 アーステック東洋	(075)575-2233	株式会社 ソルブレイン	(06)6981-3330
株式会社 JFDエンジニアリング	(06)6690-8353	株式会社 兵庫コンサルタント	(0799)28-1074
株式会社 総合技術コンサルタント	(075)312-0653	有限会社 ピュアソイル	(072)440-5137

発行 協同組合 関西地盤環境研究センター  
〒566-0042 摂津市東別府1丁目3番3号  
TEL 06-6827-8833 (代)  
FAX 06-6829-2256  
e-mail info@ks-dositu.or.jp

編集 広報小委員会  
編集責任者 八谷 誠  
印刷 千里丘印刷

<https://ks-dositu.or.jp>



①南摂津駅(大阪モノレール)より徒歩12分

②JR岸辺駅よりタクシーで約10分

新大阪駅より地下鉄御堂筋線に乗り千里中央駅でモノレールに接続、千里中央駅から南摂津駅まで21分

## 協同組合 関西地盤環境研究センター

〒566-0042 大阪府摂津市東別府1丁目3-3

TEL.06-6827-8833(代表)

FAX.06-6829-2256(地盤技術室)

<https://ks-dositu.or.jp>

